

編集委員

- ◎ 畠田 敏行* (茨城大学 全学教育機構)
 ○ 大野 賢一* (鳥取大学 学長室)
 白石 哲也+ (山形大学 学術研究院 (学士課程基盤教育機構))
 末次 剛健志* (佐賀大学 総務部 企画評価課)
 関 隆宏* (新潟大学 経営戦略本部評価センター)
 橋本 智也* (四天王寺大学 IR・戦略統合センター／教育学部)
 藤井 都百* (九州大学 インスティテューショナル・リサーチ室)
 藤原 宏司 (山形大学 学術研究院)
 藤原 将人* (立命館大学 教学部 学事課)
 山本 鉦* (九州工業大学 インスティテューショナル・リサーチ室)
 山本 幸一* (明治大学 教学企画部 教学企画事務室)
- ◎ 委員長 (編集長) ○ 副委員長 (副編集長) *大学評価コンソーシアム幹事 +平成 30 年 9 月 30 日まで委員

編集後記

このところ発行ペースが下がっております。理由はシンプルで、投稿が少ないからです。ただし、実のところあまり悲観的な印象は持っていません。米国では、IR が科学 (Science) なのか、芸芸 (Art) なのか、という議論が常にあるわけですが、主要な IR の担い手が異動を伴う事務系職員である我が国においては、研究ベースの議論にはなかなか得ず、どうしても実務的なものになります。しかしながら、実務的な話題であればあるほど、具体的な話であるため、なかなか事例として報告しにくい、という課題にぶつかります。この解としては、事例を IR 実務担当者連絡会 (セッション) として、形に残らない「口頭発表」という手法を用いることで共有することができていますが、「ここだけの話」感を維持するために定員を増やせない、内容が「画面だけで見てください」というものが多いため配信などもできないという制約がつきまといまいます。

第 10 号からは、本格的にこれらの課題を解決するべく、これまでの投稿に加え、テーマ別に依頼記事で紙面を構成するなど、さまざまな試行を行います。簡単に言えば、クオリティを維持しつつもう少し清濁併せ呑むような幅広なものを目指して行こうかと思えます。(湖)

発行日・発行者・著作権について

発行日：平成 30 年 12 月 14 日 (第 9 号)

発行者：大学評価コンソーシアム 編集者：大学評価コンソーシアム情報誌編集委員会

※ 著作権は、大学評価コンソーシアムに帰属します。ただし著者がこれらの全部ないし一部を著者自身で他に利用する (講演や教材で用いる等) 場合、その記事の出所を明示すれば足りるものとします。著者以外の方は、一般的な引用ルールに従ってご利用ください。

発行に関する助成について

この情報誌の発行は、平成 27 年度科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 基盤研究 (B) 「大学の評価・IR 機能の高度化のための実践知の収集・分析とその活用に関する研究」 (課題番号：15H03469、研究代表者：畠田敏行) の助成を受けています。

